

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>【県民生活部】</p> <p>新 重</p> <p>1 「埼玉発世界行き」奨学生 フォローアップ事業費</p>		<p>8,686</p> <p>繰入 8,686</p>	<p>要求どおり</p>	<p>帰国した「埼玉発世界行き」奨学生を対象とし、グローバル人材として活躍していくためのキャリアアップ支援を行う</p> <p>1 帰国奨学生の県内企業への就職支援交流会の開催 155万2千円</p> <p>・内容：帰国奨学生・県内企業双方によるプレゼンテーション、インターンシップへのマッチング及び交流会 ・対象：帰国奨学生約150名・県内企業約100社</p> <p>2 グローバルキャリアアッププログラムの開講 713万4千円</p> <p>・対象：帰国奨学生約150名 ・期間：合計9日間 基礎講座等（4日間） 現場実践プログラム（4日間） 提言発表会（1日間）</p> <p>※ 別事業(グローバル人材埼玉ネットワーク事業) 16万7千円</p> <p>・就職マッチング会の開催</p>

【審査の考え方】

帰国した「埼玉発世界行き」奨学生に対し、グローバル社会での活躍を後押しするため、県内企業との交流会や実践養成プログラムについて、要求額を措置した。

県民生活部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>新 重 2 埼玉・アジアプロジェクト 推進事業費</p>		<p>17,153</p> <p>諸収 369 一財 16,784</p>	<p>要求どおり</p>	<p>アジアとの相互交流・ビジネス関連事業について、プロジェクトチームを立ち上げて戦略的な方向性を明確化し、より効果的な展開を図る</p> <p>1 埼玉・アジアプロジェクト運営費 1,090万4千円</p> <ul style="list-style-type: none">・企業、大学、NGO等をメンバーとする「埼玉・アジアプロジェクトチーム」を立ち上げ・プロジェクトチームの中心となり、現地の情報収集・分析、具体的案件の調整役となるコーディネーターを設置・各部局のアジア関連事業について、より効果的な展開を図るための戦略構築、現地との調整等を実施 <p>2 海外事務所職員派遣 624万9千円</p> <ul style="list-style-type: none">・ASEAN諸国等とのネットワークを構築するため、(財)自治体国際化協会シンガポール事務所へ職員1名を派遣・派遣期間：2年間（平成24～25年度）

【審査の考え方】

アジアとの相互交流やビジネス関連事業を展開する「埼玉・アジアプロジェクト」を推進するため、関係部局や関係機関との調整を行うコーディネーターの設置等について、要求額を措置した。

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>新 3 自転車安全利用推進 関連事業</p>		<p>17,356 一財 17,356</p>	<p>要求どおり</p>	<p>自転車安全利用指導員を中心に自転車マナーの向上を図るとともに、自転車事故率の高い自治体でモデル事業を行う</p> <p>重 1 共助による自転車安全利用の県づくり推進事業費 1,135万6千円</p> <p>(1) 自転車安全利用指導員の育成 351万1千円</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県の役割① 市町村の推薦に基づき指導員を委嘱 (3,130人)② 各市町村代表者の連絡会議の設置及び研修・ 市町村の役割① 自転車安全利用指導員連絡会を設置② 代表者を中心にその他の指導員に対する研修を実施 <p>(2) 自転車安全利用指導員の活動支援 784万5千円</p> <ul style="list-style-type: none">・ ボランティア保険への加入・ 腕章、啓発品の購入・配布 <p>2 自転車安全利用重点推進事業補助金 600万円</p> <ul style="list-style-type: none">・ 対象：自転車事故の発生率が高い2市町村・ 補助率：1/2 (上限300万円)・ 対象経費：①スケアードストレイト教育の実施②交差点への注意看板設置やペイントの実施

【審査の考え方】

自転車の安全な利用を促進するため、自転車安全利用指導員の委嘱、育成、活動支援や自転車事故率の高い地域における重点的な対策について、要求額を措置した。